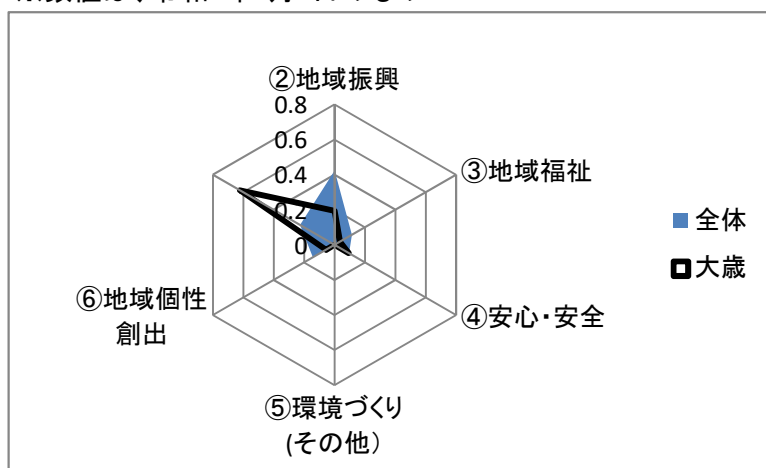


大歳まちづくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和5年度)

■地域の情報

地域人口	14,041人	自治会数	29
世帯数	6,966世帯	自治会加入率	60.0%

※数値は、令和6年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	11,670,000
交付金決算額	11,665,000
その他収入	49
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,815,591 円
②地域振興	919,620 円
③地域福祉	164,528 円
④安心・安全	443,246 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,097,000 円
⑤環境づくり(その他)	267,761 円
⑥地域個性創出	2,957,303 円
決算総額	11,665,049 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

基本方針「みんなでつくろう、明るく住みよいおとしを」テーマに地域づくりを展開する。

■総括

コロナが5類に移行したことにより、これまで中止を余儀なくされていた様々な事業を再開することができ、住民の交流もスムーズに行うことができるようになった。また、令和5年度は地区内で大雨による災害被害が起きた。移動市長室で水害対策を要望し、緊急対応は実施していただくことができたが、抜本的な対策には数年かかる見込みなので、経緯を見守りつつ、必要な要望を実施していくとともに、まちづくり協議会として何ができるのかを議論していきたい。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長1名、事務員2名の事務局人件費及び事務費
② 地域振興	各自治会の活性化、地域情報の収集と発信、あいさつ運動の推進
③ 地域福祉	高齢者支援体制の充実
④ 安心・安全	生活安全(防犯)対策の充実、交通安全対策の充実、災害安全対策の充実、見守り体制の充実
⑤ 環境づくり	環境美化活動の推進、法定外公共物等の整備
⑥ 地域個性創出	自治会内の交流促進、地域内の交流促進、住民総参加による地域の活性化、ふるさと大歳の伝承、花いっぱいの大歳づくり、交流列車おとし(大歳駅)の活用

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	自治会内の交流促進	決算額	910,336円
	目的	自治会内のふれあい事業を実施することにより地域の交流を深める。		
	実施内容	①1自治会1事業、②大歳地区一斉清掃、③三世代交流夏休みラジオ体操の実施		
	実施時期	①通年、②10月第3日曜日(10月15日)③夏休み		
	参加人数	①14自治会(810人)、②28自治会(2,676人)、③13自治会(5,383人)		
	成果	コロナが5類に移行したことで、活動再開自治会も増えてきており、自治会内での交流が再び活発化になってきている。		
	評価	コロナが5類に移行したことにより、1自治会1事業の開催及び地区内の一斉清掃、夏休みラジオ体操を実施する自治会数が少しずつではあるが元に戻ってきた。		
	今後に向けて	関連事業の未実施自治会に対し、取り組みを依頼。地区内の自治会内で三世代交流を図る。		
②	事業名	青色防犯パトロールの実施	決算額	16,674円
	目的	青色防犯パトロールにより、地域内の犯罪抑制と登下校する児童の安全見守りに寄与する。		
	実施内容	わんわんパトロール・青色防犯パトロール及び小学校見守りパトロールによる防犯活動の実施。		
	実施時期	通年(わんわんパトロール・青色防犯パトロール)、月1回(小学校見守り)		
	参加人数	わんわんパトロール・青色防犯パトロールによる地域内の見守り及び安心安全部会員による小学校見守り。		
	成果	見回り活動を通じて、地域の子供たちと交流できた。		
	評価	事業内容が住民に周知できていないことがよくわかったので、これまで以上に広報に努めていきたい。		
	今後に向けて	事業を継続実施し、地域の防犯に努めていく。		
③	事業名	ふるさと大歳の伝承	決算額	713,350円
	目的	地区内に大歳の史跡・旧跡看板を設置し地区内外の人に名所・旧跡をPRする。		
	実施内容	史跡・旧跡の看板を設置し、大歳の歴史をPRした。		
	実施時期	今年度1か所に設置。(地域交流センター)		
	参加人数			
	成果	大歳地区内に史跡看板を設置することで住民や地区内外から来られる方にPRを行った。		
	評価	今年度はこれまでの集大成として、交流センター敷地内に大看板を設置した。		
	今後に向けて	看板設置は完了したので、今後は広報の充実に努める。		